

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
山縣市	山縣市	R4.4.1～R5.3.31	R4.4.1～R5.3.31

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標	
排出量	事業系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	t	%
	総資源化量	t	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和 2年度)	目 標 (令和 4年度) A	実 績 (令和 4年度) B	実績 /目標	
総人口	25,291	25,011	25,401	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	4,749	5,427	5,197	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	18.8%	21.7%	20.5%	58.6%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	5,660	5,736	5,730	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	22.4%	23.0%	22.6%	33.3%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	10,388	9,562	9,925	

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

(公共下水道・農業集落排水)

公共下水道処理区域内及び農業集落排水処理区域内においての未接続理由としては、浄化槽設置済世帯や高齢者世帯の増加に伴い、改築のコストの面から着手を見合わせていることが要因と考えられる。

下水道接続工事や農業集落接続工事は、高齢者には経済的負担が大きく、単身高齢世帯が多い当市では、水洗化工事に躊躇する傾向が見られた。

また、コロナ禍による経済停滞の不安から、単独処理浄化槽等の転換に資金をかけたくない市民も少なくない。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和10年度まで

現状の河川等水質汚染進行状況とその進行を阻止するための一つの対策として公共下水道及び農業集落それぞれの加入接続の推進が必要となる。加入接続推進のために市民の方々に上記問題に対する意識をもってもらい周知方法を検討する必要がある。

(都道府県知事の所見)

生活排水処理については、公共下水道、集落排水施設等及び未処理人口が目標未達となった。

目標未達となった要因としては、高齢者世帯の増加や物価の高騰等により、コロナ禍で経済不安を抱えた人や単身高齢者が水洗化に対して躊躇したことが考えられるが、河川等の水質汚濁状況に係る市民への周知による問題意識の向上や、水洗化に係る積極的な啓発により、汚水処理人口普及率のより一層の向上を図られたい。